

看護の日

健康への関心高めて

5月12日の「看護の日」にちなんで、城西病院看護部は12日、病院新棟玄関わきで、毎年恒例の「看護の日イベント」を開きました。

イベントは、「皆さんの健康づくりのお手伝い」として企画し、身長、体重、血圧、体脂肪などの健康チェックを行ったほか、健康相談、介護相談、栄養相談などを行いました。

病院受診に訪れた患者さんや付き添いの家族、入院している患者さんの面会に訪れた人など、さまざまな人に立ち寄っていただきました。体重測定をして、「体重が増えた」と話したり、血圧測定で「血圧が高めなんです」と、健康チェックの後に相談される方も多く、看護師たちは一人一人の質問に丁寧にアドバイスしていました。

この日は、約70人の人たちがイベントを訪れて、健康チェックや相談などをしていました。

平成28年5月13日

ナイチンゲール誓詞

われはここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん——
わが生涯を清く過ごし、わが任務（つとめ）を忠実に尽くさんことを
われはすべて毒あるもの、害あるものを絶ち、
悪しき薬を用いることなく、また知りつつこれをすすめざるべし
われはわが力の限りわが任務の標準（しるし）を高くせんことを努むべし
わが任務にあたりて、取り扱える人々の私事のすべて、
わが知り得たる一家の内事のすべて、われは人に漏らさざるべし
われは心より医師を助け、わが手に託される人々の幸のために身を捧げん

ナイチンゲール聖詞は、看護学校などで、臨床実習の前の戴帽式で唱和し、看護師になる決意を改めて厳かな式の中で確認しています。

ナイチンゲールの偉業をたたえ、その教えをもとに、1893年にアメリカ・デトロイトの看護学校が、「ヒポクラテスの誓い」にならい、作成したものです。



看護の日は、近代看護教育の母、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、国際看護師協会が1965年に5月12日を「国際看護師の日」に制定。日本では厚生労働省が1990年に「看護の日」に制定しました。

